

公募 C 「オーストラリア・ハウス」 設計提案公募  
募集要項

<p><b>1. プロポーザルの主旨</b></p>	<p>「オーストラリア・ハウス」は「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2009」において、新潟県十日町市浦田の木造民家を利用し、オーストラリアのアーティストが滞在しながら、浦田地区の住民や全国のこへび隊、サポーターとの交流を通じて作品を制作・発表をする日豪交流の拠点として生み出された建物でした。しかし2011年3月の長野県北部地震において、その建物は残念ながら全壊してしまいました。今回の公募は、2012年に開催される「大地の芸術祭」における中心的な作品企画のひとつとして、新たな「オーストラリア・ハウス」の設計者を選定することを目的としています。</p> <p>新しい「オーストラリア・ハウス」は、日豪交流の拠点としてオーストラリア人アーティストの滞在・制作・発表や日豪の共同プロジェクトが実施されるという従来の機能を再生するだけでなく、日本の震災からの復興の象徴として、防災性や環境への配慮が十分に反映された設計となっていることが望まれます。またその実施設計・監理のプロセスにおいては、大地の芸術祭 2012において制作・展示を行うことになるオーストラリアのアーティストとの協働も条件となります。</p> <p>オーストラリア、日本のそれぞれの文化を感じさせつつ、住居、アトリエ、地域拠点、展示施設そしてアートといった多くの意味をコンパクトな建物に統合するような優れた提案に期待しています。</p> <p>参考ウェブサイト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地の芸術祭の里：<a href="http://www.echigo-tsumari.jp/">http://www.echigo-tsumari.jp/</a></li> <li>・大地の芸術祭について：<a href="http://www.echigo-tsumari.jp/triennale/">http://www.echigo-tsumari.jp/triennale/</a></li> <li>・以前のオーストラリア・ハウス：<a href="http://echigo.australia.or.jp/">http://echigo.australia.or.jp/</a></li> </ul>
<p><b>2. 事業概要</b></p>	<p>(1) 事業主体 「オーストラリア・ハウス再生委員会」</p> <p>(2) 計画予定地 新潟県十日町市浦田 7577 敷地面積 1030.84 m<sup>2</sup></p> <p>(3) 建物概要 名称：「オーストラリア・ハウス」 用途：住居・アトリエ・展示施設 規模：130 m<sup>2</sup>以内、地上2階建て以内</p> <p>(4) 計画予算 総工事費 上限 20,000,000 円（税込） （外構を含む。アート制作・設置費は含まない） 設計・監理報酬 上限 2,500,000 円（税込）</p>

	(設計、行政手続、現場監理料を含む。当選者がすべての業務を行わない場合の報酬については、8.に後述する)																										
<b>3.計画スケジュール</b>	<p>本事業は下記のスケジュールに従って進行します。本公募の応募者、および選定された設計者は計画が滞りなく進められるよう努めなければなりません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>期日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.公募要項の公表</td> <td>2011年6月24日(金)</td> </tr> <tr> <td>2.現地見学会(二回開催) (申込み等詳細は6.参照)</td> <td>2011年7月24日(日) 2011年7月31日(日)</td> </tr> <tr> <td>3.質疑提出締め切り</td> <td>2011年8月5日(金)</td> </tr> <tr> <td>4.質疑回答公表</td> <td>2011年8月中旬</td> </tr> <tr> <td>5.提案提出受付開始</td> <td>2011年9月1日(木)</td> </tr> <tr> <td>6.提案提出締め切り</td> <td>2011年9月15日(木)18時</td> </tr> <tr> <td>7.審査結果発表</td> <td>2011年9月下旬(予定)</td> </tr> <tr> <td>8.設計・監理業務委託契約</td> <td>2011年10月中旬</td> </tr> <tr> <td>9.設計完了、着工</td> <td>2012年3月末日</td> </tr> <tr> <td>10.アート制作関連を除いた建物の完成。「2012年大地の芸術祭」開始</td> <td>2012年7月28日</td> </tr> <tr> <td>11.全体完成</td> <td>2012年8月末日</td> </tr> <tr> <td>12.«2012年大地の芸術祭」終了</td> <td>2012年9月17日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※すべての期日は日本時間(GMT+9:00)によるものとします。</p>	項目	期日	1.公募要項の公表	2011年6月24日(金)	2.現地見学会(二回開催) (申込み等詳細は6.参照)	2011年7月24日(日) 2011年7月31日(日)	3.質疑提出締め切り	2011年8月5日(金)	4.質疑回答公表	2011年8月中旬	5.提案提出受付開始	2011年9月1日(木)	6.提案提出締め切り	2011年9月15日(木)18時	7.審査結果発表	2011年9月下旬(予定)	8.設計・監理業務委託契約	2011年10月中旬	9.設計完了、着工	2012年3月末日	10.アート制作関連を除いた建物の完成。「2012年大地の芸術祭」開始	2012年7月28日	11.全体完成	2012年8月末日	12.«2012年大地の芸術祭」終了	2012年9月17日
項目	期日																										
1.公募要項の公表	2011年6月24日(金)																										
2.現地見学会(二回開催) (申込み等詳細は6.参照)	2011年7月24日(日) 2011年7月31日(日)																										
3.質疑提出締め切り	2011年8月5日(金)																										
4.質疑回答公表	2011年8月中旬																										
5.提案提出受付開始	2011年9月1日(木)																										
6.提案提出締め切り	2011年9月15日(木)18時																										
7.審査結果発表	2011年9月下旬(予定)																										
8.設計・監理業務委託契約	2011年10月中旬																										
9.設計完了、着工	2012年3月末日																										
10.アート制作関連を除いた建物の完成。「2012年大地の芸術祭」開始	2012年7月28日																										
11.全体完成	2012年8月末日																										
12.«2012年大地の芸術祭」終了	2012年9月17日																										
<b>4.応募資格要件</b>	<p>(1) 個人、企業、グループの何れでの応募も可とします。建築士等の資格の有無も問いません。ただし応募代表者、もしくは応募グループのメンバーの内の1名以上が以下に該当する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリア国籍を持つ者</li> <li>・オーストラリアの永住権を持つ者</li> <li>・3年以上オーストラリア国内に在住したことがある者</li> </ul> <p>(2) 応募代表者、もしくは応募グループのメンバーすべてが、3.のスケジュールを滞りなく進行することに協力できる状態であることを条件とします。</p> <p>(3) 一人の者・企業が複数の提案の応募者(グループ)に名を連ねることは不可とします。ただし意匠設計以外の構造・設備などの協力者については、複数案への参加を可とします。</p> <p>(4) 応募代表者、もしくは応募グループのメンバー、企業のすべてが日本国内で設計・監理契約を行う資格(日本国内における建築士事務所登録)を有さず、本公募において当選した場合、あるいは当選者が設計・監理を一括して受託することが困難と主催者が判断する場合には、業務に際して主催者の指定する実施設計・監理者と協働することを条件とします。またその場合、業務報</p>																										

	<p>酬は応分に減額されます。</p> <p>(5) 本公募の審査員、事務局、その他運営に関わる者、およびそれらと利益を共有する関係者の応募は不可とします。</p>
<p><b>5.計画条件等</b></p>	<p>(1) 基本条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この建物は、オーストラリアより来日したアーティストが滞在しながら作品制作・展示を行ったり日豪の文化交流を行うための施設であり、同時にこの建物自体も「2012年大地の芸術祭」の参加作品となります。「2012年大地の芸術祭」の会期前に建物の工事は完了し、会期前半にはアート設置が完成するまでのプロセスを見せる場となり、後半にはアートも含めて完成した状態で展示を行います。</li> <li>・ 「2012年大地の芸術祭」の会期後もアーティストが滞在し、作品制作・展示や交流を行う場として年間を通して継続的に使用されます。ここで制作・設置されるアートは基本的には一時的な設置となりますが、一部は恒久設置となる場合もあります。</li> <li>・ 日本における計画・構造・設備をはじめとした建築関連法規、その他の法規に適合可能であることを前提とした計画としてください。</li> <li>・ 計画予算内およびスケジュールに従って設計、行政手続き、施工が可能である計画としてください。</li> <li>・ 本建物の建設工事については、十日町市が発注する「公共工事」となります。</li> </ul> <p>(2) 敷地条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画地 新潟県十日町市浦田 7577</li> <li>・ 敷地面積 1030.84 m<sup>2</sup> 形状・高低差については(資料2)の敷地図を参照のこと</li> <li>・ 用途地域等 都市計画区域外</li> <li>・ 前面道路 10.4m (国道405号)、4.0m (私道)</li> <li>・ 地盤状況 (資料3)の地盤柱状図を参照のこと</li> <li>・ 公共インフラ 上水、電気、プロパンガス、電話、インターネット (ADSL) TV電波、携帯電話電波 (ドコモのみ)</li> </ul> <p>※合併浄化槽の新設が必要。(別途工事)</p> <p>(3) 建物の構成条件</p> <p>①住居</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数(2~6名程度)のアーティストが滞在・生活できる最低限のスペース。</li> <li>・ キッチン、浴室(シャワーブースでも可)、トイレの他に、男女が混合する場合も想定し、最低でも2部屋が必要です。</li> <li>・ 寝室にはベッドを必須とはしません。就寝の際には日本式の寝具(ふとん)</li> </ul>

を利用し、日中は食事や会合などを行う部屋を兼ねるものとしても結構です。

②アトリエ兼ギャラリー（50～80 m<sup>2</sup>）

- ・ アートの制作、ワークショップ、展示、交流イベントを行うためのスペース。
- ・ 「2012年大地の芸術祭」の開会后、アートの完成までの期間は、アート制作風景自体を観客に見せるスペースとなります。
- ・ アート完成后「2012年大地の芸術祭」会期中は展示スペースとなります。
- ・ 住居部分と一部機能、空間を共有する提案としても構いませんが、合計してギャラリー部分が100 m<sup>2</sup>以内となるような計画とし、必要に応じてギャラリー部分の空間を区分できるようにしてください。

③設備

- ・ トイレ、浴室、キッチンが最低一箇所必要です。
- ・ 生活のために必要な設備のほか、アート制作には最低でも照明・電源・水道（流し）が必要です。
- ・ 下水処理のため合併浄化槽の新設が必要ですが、設置費用は本工事の予算には含みません。
- ・ 敷地内受電ポールの移設・撤去は不可。

④構造・面積

- ・ 上記の内容を、延べ面積130 m<sup>2</sup>以内の建物として計画してください。
- ・ 主構造が木造の場合は地上2階建て・高さ13m・軒高さ9m以内、主構造が木造以外となる場合は地上1階建てとしてください。これは日本における行政手続きの観点からの条件です。
- ・ 構造計画の条件として、日本の地震荷重および3.3mの積雪荷重（荷重1 t / m<sup>2</sup>）を考慮してください。（現地の実際の最大積雪は5m。できるだけ多くの積雪に耐えることが望まれます。）

(4) その他の計画条件

- ・ オーストラリアのアート展示、およびアートを中心とした日豪交流の拠点施設として相応しいデザイン・機能としてください。
- ・ アーティストとの協働を行うことが前提となるため、設計段階においては柔軟な対応を想定した計画としてください。
- ・ 日本の震災被害からの復興を象徴する施設として、防災・安全などの観点からの提案を盛り込んだ計画としてください。
- ・ 自然エネルギー利用、建設における環境負荷配慮など、エコロジカルな視点

	<p>からの提案も積極的にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この地域の歴史・文化・気候などをふまえた計画としてください。特に冬季に多くの積雪があることには十分に配慮してください。</li> <li>・ 設備・外構工事を含めて、総工事費の上限を 20,000,000 円（消費税 5%込）とします。</li> <li>・ 上記総工事費には、地盤改良費用（必要な場合）、合併浄化槽の設置費用は含みません。</li> </ul>
<p><b>6.応募方法</b></p>	<p>(1) 現地見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者の案内による、現地見学会を行います。開催要領、申し込み方法など詳細は、大地の芸術祭の里ウェブサイト (<a href="http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/tour">http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/tour</a>)を参照してください。</li> </ul> <p><b>注意事項：</b> <u>現地見学会以外での自主的な敷地およびその周囲の見学は地域住民の方へのご迷惑となりますので、厳禁とします。</u></p> <p>(2) 質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本要項についての質疑がある場合は、2011年8月5日（日本時間 GMT+9:00）までに以下のウェブサイトより質疑回答用の書式をダウンロードして記入し、電子メールにて事務局まで送付してください。 <a href="http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/C">http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/C</a> Email: <a href="mailto:australiahouse@artfront.co.jp">australiahouse@artfront.co.jp</a></li> <li>・ 質疑に対する回答は2011年8月中旬までにウェブサイト上にて行います。ただし、回答項目は主催者が追加情報として必要と判断したもののみとします。</li> <li>・ 上記以外の方法での質問は受け付けません。</li> </ul> <p>(3) 応募用紙</p> <p>ウェブサイトより、応募用紙をダウンロードし、注意書きに従って内容を記入し、印刷したものを、6.(4)の提出書類と共に提出ください。提出先は、6.(5)を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出品料について</li> </ul> <p>&lt;日本国内在住の方&gt; 下記口座にお振込下さい。振込手数料はご負担下さい。</p>

みずほ銀行祐天寺支店 普通 8072368 大地の芸術祭実行委員会

<海外在住の方>

クレジットカード (VISA, MASTER のみ) 引落し可能なカード情報 (名義、16桁のカード番号、有効期限) を応募用紙にご記載ください。応募用紙受け取り後、下記の出品料をクレジットカード決済させていただきます。

出品料: 1,000 円 (日本円)

(4) 提出書類

① 応募用紙

※6.(3)参照

② 応募者の経歴シート (1部)

・ウェブサイトより、応募者の経歴シート)をダウンロードし、注意書きに従って内容を記入し、印刷したものを同封してください。なお応募者に実作実績がない場合は、(資料9)の経歴シート-2の提出は不要です。経歴シートはすべてを一式とし、左肩をホチキス留めで綴じてください。

・この経歴シートは、審査段階における補助的な参考資料としてご提出いただくものです。本公募では基本的には今回の設計提案を重視した審査を行います。

③ 設計提案図パネル

・下記の内容を、841mm×594mmの用紙1枚(横使い)に自由にレイアウトし、表現してください。提案図を印刷し、パネル化(厚さ5mm程度の発泡樹脂板に貼り付け)したもの1部を提出してください。

- ・計画建物の平面図、立面図、断面図(縮尺、方位を明記すること)
- ・配置図(平面図と兼ねても可。縮尺、方位を明記すること)
- ・建物の外観・内観パース、または模型写真
- ・提案内容の説明図、説明文(文章はなるべく短く簡潔なものとする。主コンセプト文は英語で100語、日本語で200文字程度)

・提案図内に、応募者の氏名、企業名などが特定できるような情報を記入しないで下さい。

・提案図パネルの裏面に、「応募名」を記入してください。「応募名」は個人名、企業名、グループ名など自由な名称で構いませんが、必ず応募用紙に記入したものと同一とします。

・図面表記に使用できる言語は、日本語英語併記、もしくは英語とします。日本語のみの表記は不可とします。

④設計提案図の縮小版

・設計提案図 (6.(4) ①のもの) を 50% (420mm×297mm) に縮小印刷したもの (パネル化不要) 3部。

・各縮小版の裏面に、「応募名」を記入してください。

⑤電子データ (CD)

- ・以下の電子データを CD(DVD)ディスクに保存したもの 1枚。
- ・ 6.(4) ①～②の書類 (記入済みの応募用紙、応募者経歴シート)
- ・ 6.(4) ③の設計提案図を pdf ファイルに変換したもの。
- ・ ラベル面に、「応募名」を記入してください。
- ・ 設計提案図内の文字フォントはアウトライン化して pdf データを作成してください。手描き図面の場合は画像スキャンして pdf 変換してください。

⑥出品料の払込票コピー

※海外在住の方は、クレジットカード No.(振込不可)

(5) 提案提出期日

- ・2011年9月15日18時(日本時間 GMT+9:00) 必着とします。6.(4)の提出書類をすべて一包に梱包してください。
- ・梱包の表面に「オーストラリア・ハウス設計提案応募書類」と明記してください。

・提出書類の提出先

〒150-0033

東京都渋谷区猿楽町 29-18 ヒルサイドテラス A 棟

株式会社 アートフロントギャラリー内

オーストラリア・ハウス設計提案公募事務局

TEL: 03-3476-4868 FAX: 03-3476-4874

	<p>(6) 失格要件</p> <p>以下の場合はその応募案、応募者は失格とし、審査の対象となりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出の期日に遅れた場合</li> <li>・ 提出書類において内容の不足、条件に違反する記述、虚偽の記述があった場合</li> <li>・ 提出パネルの寸法が正しくない場合</li> <li>・ 第三者の著作権を許可なく侵害する内容を伴う場合</li> <li>・ その他、主催者が不適格と認めた場合</li> </ul>
<p><b>7.審査・結果通知</b></p>	<p>提案書類の提出後、審査員による審査を経て、当選案 1 点、次点案 1 点、および選外優秀案数点を選出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査段階において、内容の確認が必要と審査員あるいは事務局が判断した場合には、応募代表者に連絡をとり内容の確認を行う場合があります。</li> <li>・ 審査結果は 2011 年 9 月下旬にウェブサイト上にて発表します。（発表時期は若干前後することがあります。）</li> <li>・ 審査結果についての疑義、問い合わせは受け付けません。</li> </ul>
<p><b>8.業務契約</b></p>	<p>(1) 業務範囲と報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本公募の当選者が主催者で行う契約（以下、「設計契約」）には、建物の設計（構造・設備設計を含む）、実施図面作成、工事費調整、現場監理、アーティストとの協働における設計調整、またそれらに関する打合せのすべてが含まれます。ただし当選者、もしくは当選者のグループのメンバー、企業のうちの一以上が日本国内で設計契約を行う資格（日本国内における建築士事務所登録）を有さない場合には、設計契約ではなく、デザインの提案と調整のみの契約（以下、「意匠監修契約」）のみを行うこととなります。</li> <li>・ 上記の何れの契約においても、契約を行う当選者は、日本の法規制などの諸条件への対応、およびアーティストとの協働における要求条件の変更などへの対応のため設計の変更を行う必要が生じた場合には、それに協力する義務を負います。</li> <li>・ 契約の締結、業務の遂行にあたって、助成・協力諸団体等の条件が付加されることがあります。</li> <li>・ 「設計契約」を行う場合、その業務報酬額は 2,500,000 円（税込み）を上限として、主催者と打合せの上で決定されるものとします。この場合業務に伴う外注費（構造・設備設計、図面作成、翻訳など）はすべて契約した設計者の負担となります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「意匠監修契約」を行う場合、その業務報酬額は1,000,000円（税込み）を上限として、業務の範囲に応じて、主催者と打合せの上で決定されるものとします。</li> <li>・上記の業務報酬の他、業務のため現地へ赴く場合の交通費・滞在費については、500,000円（税込み）を上限に別途支払われるものとします。</li> <li>・日本円以外の通貨に換算して支払が行われる場合のレートは、主催者側が定める基準に従うものとします。</li> </ul> <p>(2) 設計体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当選者が「設計契約」を行うことになる場合には、当選後速やかに主催者に業務を行うチームの体制を提示しなければなりません。また構造・設備設計や通訳など日本国内の協力者が必要な場合には、事務局が協力事務所を紹介することも可能です。ただしその場合も、協力者への業務報酬は契約した設計者が支払うものとします。</li> <li>・当選者が「意匠監修契約」を行うことになる場合には、本業務のうち実施設計・現場監理を行う設計者を主催者が指定します。契約した意匠監修者は、指定された設計者と連絡を取り、打合せをしながら監修業務を行わなければなりません。</li> <li>・本公募の結果発表、業務の契約後においても、応募書類に虚偽の記載があったことが判明した場合、当選者が本要項の応募資格条件を満たさないことが判明した場合、あるいは当選者が計画予算・スケジュール通りに業務を遂行できないと主催者が判断した場合には、本業務契約を解除することができるものとします。</li> </ul>
<p><b>9.応募作品の取り扱い</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募提出されたパネル、書類等は返却されません。</li> <li>・本公募で提出された作品に関する著作権は、応募者に帰属します。</li> <li>・主催者は、本公募に関する公表、展示その他主催者が必要と認めた際には、提案パネル、書類を無償で使用できるものとします。</li> </ul>
<p><b>10.体制</b></p>	<p>(1) 審査員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査員長 安藤忠雄（建築家）</li> <li>・審査員 トム・ヘネガン（建築家。東京芸術大学美術学部建築科教授。元シドニー大学建築・デザイン・都市計画学部長）</li> <li>・審査員 北川フラム（「大地の芸術祭」総合ディレクター）</li> </ul>

	<p>(2) 設計提案公募運営組織</p> <p>オーストラリア・ハウス再生委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：ブルース・ミラー（次期駐日オーストラリア大使）</li> <li>・委員：関口芳史（十日町市長。「大地の芸術祭」実行委員長）</li> <li>・委員：福武總一郎（「大地の芸術祭」総合プロデューサー）</li> </ul> <p>オーストラリア・ハウス設計提案公募事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局長：徳仁美（在日オーストラリア大使館 文化担当）</li> <li>・事務局：株式会社アートフロントギャラリー</li> <li>・コーディネーター：</li> </ul> <p>今村創平（建築家、アトリエ・イマム代表） 山本想太郎（建築家、山本想太郎設計アトリエ代表）</p> <p>後援 在日オーストラリア大使館 協賛 十日町市 社団法人海外と文化を交流する会 豪日交流基金 在日オーストラリア大使館</p>
<p><b>11. 添付書類</b></p>	<p>(資料1) 敷地案内図 (資料2) 敷地形状・高低測量図 (資料3) 地盤柱状図（簡易調査） (資料4) 参考資料：計画地を含むエリアの情報 (資料5) 参考資料：地域の典型的な住宅・建物 (資料6) 質疑用書式 (資料7) 応募用紙 (資料8) 応募者の経歴シート用書式-1 (資料9) 応募者の経歴シート用書式-2</p> <p>(追加資料) 敷地ボーリング調査資料 : 7月中旬に HP にて公開予定 その他の資料、追加資料をウェブサイト上にて提示することがありますので、 随時参照してください。 設計提案公募ウェブサイト <a href="http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/C">http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/C</a></p> <p>(要参照ウェブサイト) 「大地の芸術祭」について: <a href="http://www.echigo-tsumari.jp/triennale/">http://www.echigo-tsumari.jp/triennale/</a> 現地見学会開催要領: <a href="http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/tour">http://www.echigo-tsumari.jp/2012kobo/tour</a></p>